特別委員会

❖総合開発特別委員会

◇地元関係機関で国等へ要望活動

林　光仁　委員長

所管事項は「要望について」「陸上自衛隊の訓練について」「日本製紙㈱北海道工場勇払事業所の洋紙事業停止について」「日本製紙㈱及び双日㈱が出資予定する合弁会社による木質バイオマス発電所の立地計画について」など11項目で「要望について」は、これまでの苫小牧市単独で行っていた国などへの要望活動を地元関係機関と一体となり活動したことを委員長から報告しました。

国等への要望活動

また、陸上自衛隊の訓練や2020年に生産停止となる日本製紙㈱勇払事業所の洋紙事業停止の影響についての調査結果の報告、木質バイオマス発電所の立地計画概要の説明があり、延べ12名の委員から質疑が行われました。

❖安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

◇津波一時避難施設として1棟が追加され市内68棟になる

岩田　薫　委員長

所管事項は、災害時の協定に関する事項、防災訓練、苫小牧市国民保護計画の変更（案）、（仮称）市民ホールの整備手法検討と進め方の4件の報告がありました。

協定の締結では津波避難所ビルに苫小牧港開発㈱が加わり、市内全体で68棟となりました。

苫小牧港開発ビルが津波避難所に

（仮称）市民ホールの整備手法と進め方の質疑では、市側の答弁に対し動議があり、理事会で協議した結果、改めて市側の考え方が示され了承されました。

その他、胆振東部地震での対応で、「液体ミルクの対応について」「停電に伴い電線の地中化の計画」「今後の計画停電の予定」また「災害時の避難場所看板の市民周知」など質疑が交わされました。

平成29年度一般会計決算審査特別委員会

谷川　芳一　委員長

平成30年10月9日から10日の日程で委員会を開催しました。委員会は、13名の委員で構成され、2日間の審査では、決算説明書や主要事業レビュー及び市側から提出された資料などをもとに、一般会計のそれぞれの事業の課題や改善点、さらには市民の血税である予算が適正に執行されているかといったことなどについて、延べ38名の委員から、苫小牧市の未来を見据えた闊達（かったつ）な議論が展開されました。

2日間とも、時間を延長し理事会についても頻繁に行った結果、平成29年度苫小牧市一般会計決算については、賛成多数で認定となりました。

一般会計	
委員長	谷川芳一
副委員長	松尾省勝
委員	○竹田秀泰
	佐々木修司
	岩田典一
	○大西厚子
	藤田広美
	○宇多春美
	牧田俊之
	○首藤孝治
	○工藤良一
	小野寺幸恵
	○小山征三

○印は理事

平成29年度企業会計決算審査特別委員会

神山　哲太郎　委員長

平成30年10月16日から17日の2日間の日程で委員会を開催しました。審査では、委員長を除く全委員が質問を行い、各会計の事業内容の進捗や予算執行の状況などについて慎重かつ活発な質疑が市側と展開されました。その結果、すべての会計において全会一致で認定されました。

国民健康保健事業会計では被保険者の減少や給付費の増加の影響などを心配する質問。市立病院事業会計では、約2億円の赤字の原因について今後の見通しなどの質問が相次ぎました。また、霊園事業会計では、申込が多かった共同墓について数の見通しなどの質疑がなされました。

企業会計	
委員長	神山哲太郎
副委員長	金澤　俊
委員	○板谷良久
	○原　啓司
	○岩田　薫
	矢嶋　翼
	○桜井　忠
	○池田謙次
	林　光仁
	○越川慶一
	冨岡　隆
	西野茂樹

○印は理事